

クリスマス・オラトリオを

演奏するということ

本林 井 惠美子

クリスマスにはヘンデルの「メサイア」をさき、大分そかに「ベートリーネ」の「オ九」をさきといふ、奇妙な習慣のついた日本では、ヨーロッパでクリスマスに演奏される唯一の音楽といつてもよい。バッハの「クリスマス・オラトリオ」は、全く無視されていきなり、どうしてこういうことになつたのか、よくわからぬのです。やはりわれわれの先輩が、かれらになじみ深い英米系の「メサイア」をとり入れ、それが非常にはやつてしまつたもので、「クリスマス・オラトリオ」は忘れられてしまつていたのでしよう。「メサイア」はヨーロッパではむしろ復活節のシーズンに多く演奏されるのです。クリスマス・シーズンに「メサイア」をさきくことの好きさはいはともかくとして、もうそろそろ「クリスマス・オラトリオ」がきかれてもいいのではない、でしょうか。

クリスマスにふさわしい明るさ、輝かしさと

ともに、愛らしさ、素朴さ、そして高貴さ、謙虚さを、この作品はあまざるところなくあらわしています。六曲のカンタータから成つていゝので、全曲を一回で演奏するとかなり長いものになり、そんな演奏上の都合からも、敬遠されているのかもしれない。六日かけて一曲ずつしないまでも、クリスマス用の前三曲、新年用の後三曲と、二年にわたつて二回にわけて演奏できれば、いちばんよいように思います。

今年のはじめでなので、前三曲を勉強して、演奏します。将来は、そのような二度の演奏を恒例としてしまひ、新年に「クリスマス・オラトリオ」はおかしいなと思われなくなるよう、そして、毎年待ちかまえてゐる同僚の方々にたのしく聞いていたたけるようになりたいと思ひます。年を重ねることには音楽の本のみみままで、わかものとなり、「クリスマス・オラトリオ」なら、バッハ

合唱団に、といふので、この曲をたずさえて、北に南に演奏旅行でもできるほどになつたら、……とこれは私の真夏の夜の夢。

内容にふさわしい教い方ができるように、なによりもまず、ひとひとくが毎日借りものである。この音楽の精神に生きることも必要をわけです。ひとにきかせる音楽でなく、われわれがともにその中に生きる音楽を求めてゆきたいものです。

「クリスマス・オラトリオ」解説

「クリスマス・オラトリオ」は、一七三四年に作曲された。これは、ルカによる福音書(第二章一―三節)、マタイによる福音書(第二章一―三節)にもとづくキリスト降誕の物語を筋にした六曲のカンタータから成つてゐる。それ以外のカンタータは、次のよう、各主題をもつてゐる。

- オ一 カンタータ キリストの降誕
- オ二 「ベツレヘムの羊飼」に天使の告知
- オ三 「羊飼の嬰兒訪問」
- オ四 「嬰兒の言語」

オニカンタータ 東方の博士たち

オニ
ハロデー

「クリスマス・オラトリオ」のしなみ深い性格は、この曲の独特な魅力となつてゐる。受難曲と同様このオラトリオも、合唱曲、コラル、叙唱、詠唱から成る。非常にゆたかな管弦樂法をもつて、ハハはこの作品に充實したよろこびの雰囲気をおたえた。福音書の叙唱は、生き生きとしたリズムと、キリスト教の栄光と聖性を描きあげた華麗な色彩とによる、深くはかりの感動的な一面にとりかこまれてゐる。規模の雄大なこれらの曲のかたわらに、たとへば、アルトの詠唱「わむれみ子イエス」(オニ曲)のように、クリスマススのアニティムな魅力をよく反映してゐるものも見出せる。この詠唱のリズムとメロディーは、愛らしい子守歌のまじりである。オニカンタータ冒頭の有名なオニケストラのパストラルは、最上のクリスマス音楽である。

しかし、ハハにとって、クリスマススの福音の意味は、祝いのよろこばしい詠唱のみにつきるものではない。か化にとつて、キリストの誕生は十字架による救いを約束するものである。それゆえに、オニカンタータの最初の「オニ」分、この作品全体にとつても最初の「コラル」は、律隊の歌の歌の上、マタイ、ヨハネ両受難曲の基調とな

つてゐる十字架の歌「無しおしたるまのみかしら」のメロディーをきかせるのである。未だを敵うとはりはしはしの向あけられる。ゆりかごの嬰兒は、自分の祈送の歌をきくのである。

しかし、ハハへの信仰はいつまでもそれに固執しない。死は勝利にのみこまれるのである。この同じメロディーが、オラトリオの最後に凱歌となつてもとつてきて、オニケストラ、合唱、オルガンのフォルティシモは、キリスト教信仰の勝利の歌をもつて、この作品を終らせてゐる。

(一九六〇年十一月一日、ストラズブル。聖ヤコブ教会における懷奏会のプログラより)

オニ定期懷奏会 報告

入場人員	260名
出演者	43名
指揮者・独唱者	5
オルガニスト	2
オニケストラ	8
合唱	28

【支出】

出賃料	67000
印刷費	25950
楽譜(リスト)	3880
会堂使用費	5000
チェンバロ使用料	18000
オルガン調律費	1000
通信・交通費	3280
前回追加印刷費	4850
計	128960

【収入】

整理券	96000 (320枚)
プログラム広告料	19000
献金	13000
(小林道夫様)	
(有賀茂美子様)	
計	128000
差引不足	-960
前回差引不足	-9670
計	-10630

「クリスマス・オラトリオ」

オラトリオ 詠詞

(1) 合唱

よろこばや このよき日を いざともしに
 ほめたたえよ この日なしたまひし大みわらへを
 こうすこよ 嘆き、悲しみを
 こえたかく たたえよや
 ささげん たえなる教を
 みをを われら ほめたたえん

(2) テノール叙唱(ルカ2・1-6)

そのころ 世の人々すべてを
 戸籍につかすべき^{たより} いたり
 さはばみな おのが故郷に帰りゆきぬ
 ヨセフもまた 幼ビテの家系血筋なれは
 ガリラヤのナザレをいで
 幼ビテの村 ユダヤのベツレヘムにいたりぬ
 すこにみこもれる 許婚の妻 マリアと共に
 かへてこのへにおるほどに
 マリア 用みらぬ

(3) アルト叙唱

いまや 花をこきたらん
 幼ビテのすえなる 世うなぐすめ
 救いは 生まれん
 ヤコブの星輝かん いまさしいでぬ
 いかにオン 私えや 懐を
 故かたち あらわる

(4) アルト詠唱

そなえせよ シオン まごころもて
 うるわしきもの きたらん
 なかもとに
 なか^{おも}面は この日 げに輝かん
 いそげ あこがれのまのもとに

(5) コラール

いかにむかえん いかにまみえん
 おお 世の望みよ わが心の主
 おお イエス イエス キたり
 ともしひもて
 したごうへき道を示したまえ

詩・ Paul Gerhardt: Wie alle

ich dich empfangen,
 1653 第一節
 Hans Leo Haasler: Herrlich
 ist mich erlangen, 1601

(6) テノール叙唱(ルカ2・7)

マリヤ 初見を生み布につつかて
 馬ふねにふさせたり
 そは ところなかりしゆえなり

(7) コラール(ソプラノ合唱)・アリオゾ

(バス)
 至ほ地にキにれり 食しきヤヌマにて
 われらを保 あわれみ
 みくにに富ましめんとて キエリエイスノ

詩・ Martin Luther: Gelobet

seist du, Jesus Christ.
 オラトリオ 1524
 曲・ 聖曲・ Wittenberg 1524

主のたまひし愛にたれか まはるるを得ん
 ああ ひとの世しみを 主はなやみなもう
 神の子 キませり なれらか救の主
 人とあつて 生まれましぬ

(8) バス詠唱

大いなるまよ 君よ
いとしき 救い主 なれは
なみしたもう 地のさかえ
世を支え ほまれ さかえ つくるものは
かたきしとゆに ねむりたもう

(9) コラル

いとしき み子イエス
われを なみいこの
宮となしたまえ
とわに すみたまえ

華・聖曲
Mastie Kutter: Von
Himmel hoch, da Kommt
Ehr her, 1333
Seipzig 1539

8月行事

4日(日) 午後4時-6時 例会
15日(木)-18日(日) 団員合宿(野尻湖)
18日は練習なし
19日(月) 平常通り練習
26日(月) ハッパセミナル休会、平常通り
練習。

◇ 8月中は日・月曜とも才二練習場で練習。
9月2日から月曜は芸術家会館ホールに
復帰、日曜は従来通り才二練習場
(森井宅)。

◇ 団員各位におねがい
欠席するときはあらかじめ届けることにな
っています。(Tel. 322-1950 森井宅)
最近これが大変不徹底になりました。
ことに一月以上も長期欠席がある方は、早
消息を知らせて下さい。みんなを心配して
います。こちらからは、月報はその月のうち
に全員に手渡しましたは郵送しています。
どうも人情的な対応を重んじていたたき
いものです。

7月出席統計

	6.30	7.1	(いみち) 7.8	14.15	21.22	28.29	平均
S	7	9	9	5	7	1	5.8
A	7	11	11	7	9	4	7.6
T	5	4	4	2	3	3	3.4
B	6	5	5	5	4	6	5.2
計	25	29	29	19	23	14	22

後援会に納入会
いたいた方々(7月)

岩浅 和子 様
高橋 淑子 様

団員名簿追加

S 16 田代凌子(9)
A 17 島田恵子(10)